

〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

ニューキャンパスシリーズ 48 (通算 534 回)

2012 年 7 月 4 日 (水)

公正かつ良好な教育・研究環境に――

キャンパス・ハラスメント防止体制の展開と実際

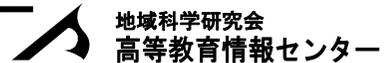
～事案・判例／規程・ガイドライン改訂／学生視点の防止啓発／「自主解決」と「環境調整」～

- ※ グレーゾーン／アカハラ・パワハラの特徴／事後対策～重要性・失敗例／最近の動向
- ※ [中央大] 規程・ガイドライン改訂とポイント／ノンハラスメント・プロジェクト／DVD
- ※ [名古屋大] 自主解決・環境調整／早期解決を支える体制整備／相談センターへのバックアップ

● 講師陣 ●

菅谷 貴子 氏 / 山田・尾崎法律事務所 弁護士
 山ノ井和哉 氏 / 中央大学 ハラスメント防止啓発室 担当課長
 葛 文綺 氏 / 名古屋大学 ハラスメント相談センター 相談員

2012 年 7 月 4 日 (水) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)



日時：2012 年 7 月 4 日 (水) 10:00～16:40
 会場：剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」
 麹町口より徒歩 10 分
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので
 必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込)
 40,000 円 (消費税込)
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)
 41,000 円 (送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ
 FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658
 郵便振替 00110-8-81660

口座名 < (株) 地域科学研究会 >
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
 代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106
 Tel : 03(3234)1231 / Fax : 03(3234)4993
 E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp
 URL : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

ニューキャンパスシリーズ 48

2012 年 月 日

キャンパス・ハラスメント防止体制の展開と実際

当日参加 メディア参加
 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

連絡部課・担当者名 _____

所在地 〒 _____

メールアドレス _____

TEL _____ FAX _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (郵便振替 当日払い 銀行振込) 必要書類 [請求書 見積書]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 11:40	<p>□ キャンパス・ハラスメント事案・裁判例と法的対策の要点 ～判例にみるグレーゾーン／規程・ガイドラインの留意点／調査・処分上の留意点～ 山田・尾崎法律事務所 菅谷 貴子</p> <p>1. キャンパス・ハラスメントとは (1) セクハラ、アカハラ、パワハラの定義と種類 (2) セクハラ、アカハラ、パワハラの原因と背景</p> <p>2. キャンパス・ハラスメントの特徴と原因 (1) ハラスメントが起こる温床 (2) セクハラの特徴(教員と学生との関係) (3) アカハラ・パワハラの特徴～グレーゾーン</p> <p>3. キャンパス・ハラスメントの事前予防と事後対策 (1) 事前予防としての意識改革 (2) 事後対策の重要性と失敗例</p> <p>4. 最近のキャンパス・ハラスメント裁判例</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
12:40 14:40	<p>□ [中央大] ハラスメント防止体制の全学的取組み ～規程・ガイドラインの改訂／学生視点の防止啓発活動—ノンハラスメント・プロジェクト～ 中央大学 山ノ井和哉</p> <p>1. 全学的な防止啓発活動の取り組み (1) 構成員別防止啓発企画の実践 (2) 全構成員を対象とした防止啓発キャンペーンの実施 (3) 学生視点の防止啓発活動※DVD上映 1) ノンハラスメント・プロジェクト NHP(本学の防止啓発活動を委員会と協働で行っている学生団体・通称 NHP)の防止啓発の取り組み 2) NHPの発足と活動内容(キャンペーン企画立案と実施、キャンパス・ハラスメント啓発用 DVDの制作など)</p> <p>2. 規程・ガイドラインの改定とポイント (1) 現実の相談に即した改正の検討と本年4月1日からの施行 (2) 既存規程では対応に限界があるケースの扱いについて</p> <p>3. 最近の相談から思うこと～相談者(被害者)支援の視点</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
14:50 16:40	<p>□ [名古屋大] ハラスメント相談における早期解決 ～「自主解決」と「環境調整」を中心に～ 名古屋大学 葛 文綺</p> <p>1. 早期解決におけるハラスメント相談センターの役割 (1) 自主解決の流れ (2) 環境調整の流れ (3) 早期解決の課題</p> <p>2. 早期解決を支える防止体制の整備 (1) 相談センターの充実 (2) 相談センターへのバックアップ体制 (3) 防止規定の整備</p> <p>3. まとめ～ハラスメント相談の課題</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>